

奥野総務副大臣「消防大学校」及び「消防研究センター」視察

消防大学校

平成29年9月13日、奥野総務副大臣が東京都調布市に所在する消防大学校及び消防研究センターを視察しました。

消防大学校では、屋外訓練や教育訓練施設の説明を受けるとともに、幹部科、救助科、予防科、救急科学生（216名）に対する激励を行いました。

また、消防研究センターでは、外国人傷病者とのコミュニ

ケーションを円滑にする救急隊用多言語音声翻訳アプリ「救急ボイストラ」、石油コンビナート等における大規模な火災等が発生し、消防隊員が現場に近づけない状況において災害の拡大抑制を行う「消防ロボットシステム」、糸魚川火災を例に出火点、風向、風速等を入力し延焼状況を予測する「火災シミュレーション」等の研究開発の進捗状況等について説明を受けました。



実火災体験型訓練「ホットトレーニング」の説明を受ける奥野総務副大臣（右側）



幹部科第50期、救助科第76期、予防科第102期、救急科第79期の学生に激励を行う奥野総務副大臣（中央）



火災調査実習の模擬家屋の説明を受ける奥野総務副大臣（右側）



火災シミュレーションシステムの説明を受ける奥野総務副大臣（右側）

問い合わせ先

消防庁消防大学校庶務課
TEL: 0422-46-1720